



開発したレインコート

平成 26 年 9 月 16 日 (火)
あいち産業科学技術総合センター
尾張繊維技術センター 素材開発室
担当 島上、池上、福田
電話 0586-45-7871
愛知県産業労働部産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 加藤、水野
内線 3389、3388
ダイヤルイン 052-954-6347
(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター
事務局長 山田克博
電話 0586-46-1361

雨の日も、車椅子に乗って楽しく快適に！

－歩行・車椅子共用レインコートを共同開発－

あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターと公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンターは、県立一宮特別支援学校及び繊維製品製造企業と共同で、車椅子が操作しやすく、歩く時にも使えるおしゃれな車椅子用レインコートを開発しました。

着用者はもちろん、車椅子や荷物も雨から守ることができます。また、様々な車椅子に対応できるように裾のラインを調整できる工夫が施されています。持ち運びの際には小さく収納することも可能です。

今後、このレインコートは県立一宮特別支援学校の様々な行事で使用され、デザインや着用感、取扱いやすさ等についての評価が行われます。その結果を元にさらなる改良を行い、商品化へ繋げていく予定です。

平成 26 年 9 月 25 日 (木)、県立一宮特別支援学校において、開発したレインコートを関係者に紹介するお披露目式を開催します。

1. 背景

尾張繊維技術センターと(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンターは、平成 20 年度より、県立一宮特別支援学校及び地元企業と共同で、車椅子で生活する小学生から高校生までの子供たちの希望を叶えようと福祉向け衣料の開発に取り組んできました。車椅子で生活する子供たちは、一般に市販されている衣服では動きづらかったり、着替えるのが難しかったりすることが多く、自分が望む衣服を着ることができず不便な思いをしています。そこで、学校の子供たちの希望をもとに、身体の動きに合わせた衣服のデザインや素材の検討を行い、保温性やストレッチ性など機能性に優れた生地を開発するとともに、着やすい・着せやすい工夫や、車椅子に座った状態でもシルエットが美し

くなる工夫を重ねた福祉向け衣料の製作を行ってきました。

これまでに、レディーススーツ*1、ジャケット・パンツ*2、メンズコート*3、レディースコート*4、礼服、スーツ*5を製作しました。これらの衣料には、毛織物の産地である尾州地域で長年にわたって培われてきた様々な技術が詰まっています。

しかし、これらの開発品はオーダーメイド服であるため、なかなか多くの子供たちに服を届けることができずにいました。そこで今回は福祉向け衣料の量産化に向けた足がかりとなることを期待して、様々な車椅子に合わせて裾のラインを調整できるレインコートの開発を行いました。開発体制は表1のとおりです。

表1 共同開発機関・企業

企画・生地	尾張繊維技術センター
企画・調整	(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター
ニーズ抽出、評価	一宮特別支援学校
企画、デザイン	ササキセルム(株) (一宮市)
デザイン、パターンメイキング	服飾デザイナー 小林隆臣氏 (岐阜県安八郡)
生地、加工	(株)サカイナゴヤ (稲沢市)
パターンメイキング、縫製	(株)ナイガイ (一宮市)

2. 開発内容

着用者に加え、車椅子も雨風をしのげるよう、全体をくるむようなデザインになっています。着脱も容易にできます。また、前身頃裏に収納ポケットが付いており、未使用時は別の袋を用意する事なく収納出来るよう工夫されています(図1)。使用者によって異なる様々な形状の車椅子にフィットするよう、また立って歩くときに裾がたるまないように面ファスナーで調整できるようになっています(図2)。また、使用した生地には防水透湿機能があるため、着ていても蒸れにくくなっています。さらに、車いすから降りた際にもそのまま使用できます。

今年度は商品化を目指して、オーダーメイドではなく S,M,L サイズで展開し、1 学年分(20 着程度)を製作しました。

今後、一宮特別支援学校において様々な行事に使用してもらい、デザインや着用感、取扱いやすさなどの評価を行っていく予定です。



図1 収納した様子



図2 裾の調整

3. お披露目式の概要

開発したレインコートを開発者から生徒の代表（6名を予定）に手渡して、関係の皆様にお披露目します。

(1) 日 時

平成 26 年 9 月 25 日(木)

午後 1 時 30 分から午後 2 時まで

(2) 場 所

愛知県立一宮特別支援学校

(所在地：一宮市杉山字氏神廻 1 電話：0586-51-2221)

(3) 次 第

ア 開会

イ 校長あいさつ

ウ 開発者代表あいさつ

エ 開発者から生徒代表に手渡し

オ 生徒代表のことば

カ 試着・記念撮影

4. 問い合わせ先

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室

担 当 しまかみ いけがみ ふくた
島上、池上、福田

所在地 一宮市大和町馬引字宮浦 35

電 話 0586-45-7871 FAX 0586-45-0509

【用語解説及び参考】

*1 レディーススーツ（平成 21 年度開発品）

ウール 100%織物を使って、随所に設けたフックやファスナー、座った状態で胸元や膝元がはだけないデザインにより、ひとりでも着やすいスーツを開発しました。

*2 ジャケット・パンツ（平成 22 年度開発品）

伸縮性に富んだ綿 100%のデニム生地(ジーンズなどに使われる厚手の織物)を使って、フックやファスナーの設置、姿勢維持のための車椅子の固定ベルトを隠すようなデザインにより、着脱が容易ながらシルエットの美しい服を開発しました。

*3 メンズコート（平成 23 年度開発品）

体の可動域を考慮し、背中部分を大胆に開いたデザインや、袖にファスナーを設けることにより、着脱が容易でシルエットの美しいコートを開発しました。生地自体への抗菌・消臭加工に加え、特に汚れやすい襟や袖口は取り外して洗濯が可能となっています。

*4 レディースコート（平成 24 年度開発品）

車椅子がこぎやすいように肩から袖にかけて伸縮性の高い素材を組み合わせ、脇にファスナーを付けて車椅子がこぎやすくて、歩行する時の補助杖で立ってもすっきりとしたかわいいレディースコートを開発しました。

*5 礼服、スーツ（平成 25 年度開発品）

着脱が容易になる袖のファスナーや車椅子の固定ベルトを隠すようなデザインでシルエットの美しい礼服、及びクラッチが装着しやすい袖や車椅子を操作しやすくしたデザインのスーツを開発しました。



昨年度までの成果品（左からレディーススーツ、ジャケット・パンツ、メンズコート、レディースコート、礼服・スーツ）